

「富士市地域公共交通計画（案）」のパブリック・コメントに対する意見及び回答

反映結果の項目は、「1 反映する」、「2 既に盛り込み済み」、「3 今後の参考にするもの」、「4 反映できないもの」、「5 その他（案件とは無関係な意見等）」の5区分

No.	意見の内容	市の考え方	反映結果
1	<p>入山瀬駅周辺から市役所や市立中央病院に直接いけるようなバス路線を作るべきだと思う。</p> <p>更に、そこから吉原駅方面に向かう路線があればかなり便利だと思う。</p>	<p>本計画（案）においては、必要に応じて運行内容を改善し、メリハリのある公共交通体系を構築することとしております。</p> <p>運行内容の改善にあたりましては、利用者のニーズを十分に把握し、その利便性を維持した上で、より幅広い利用者が開拓できるよう、取り組んでまいります。</p>	今後の参考
2	<p>1のバスは、青葉通りを通るといいと思う。市がまちなかと位置づける青葉通り沿いの地域は、店舗が多い地域である。</p> <p>店舗が多い地域なのに、バスも走らず自家用車でしか行けないのは全くもったいないと思う。</p>	<p>本計画（案）においては、必要に応じて運行内容を改善し、メリハリのある公共交通体系を構築することとしております。</p> <p>運行内容の改善にあたりましては、交通結節点や都市拠点、ニーズの高いエリア・施設へのアクセス確保にできる限り配慮し、集約・連携型都市づくりと歩調を合わせ、これに貢献する方向で進めてまいります。</p>	今後の参考
3	<p>丘地区はバス路線が全くなく、デマンドタクシーしか走っていないのは本当にナンセンスだと思う。</p> <p>吉原中央駅ではなく、富士駅や青葉通り周辺地区と乗り換えなしでいけるバス路線を作る必要がある。</p>	<p>丘地区の「デマンドタクシー」は、地区住民が主体となり、地区のニーズにあった運行形態を熱心に検討した経緯があり、丘地区のサイズにマッチした交通モードだと認識しております。</p> <p>このため、現時点では見直しを行う予定はありませんが、本計画（案）においては、必要に応じて運行内容を改善し、メリハリのある公共交通体系を構築することとしております。</p>	今後の参考
4	<p>路線バスは、小型でも十分な路線が多く、時間帯や路線により、サイズを検討すべき。</p> <p>小型のひまわりバスと同じような大きさのバスを、もう少し高頻度で運転すべき。</p>	<p>路線バスの小規模需要などへの対応は、小型バスのほか、10人乗りのワゴンタイプの車両なども含め、身の丈にあったものを選択する形が望ましいと考えております。</p> <p>今後も、ネットワーク全体として、より利便性の高いサービスを目指し、路線バス・循環バスの運行内容を必要に応じて改善し、メリハリのある公共交通体系を構築してまいります。</p>	今後の参考

No.	意見の内容	市の考え方	反映結果
5	<p>東名高速道路の富士インターと富士駅や新富士駅を結ぶバス路線を絶対に作るべきである。</p> <p>東名富士バス停には多くの高速バスが停車するにもかかわらず、バスを降りたら接続する路線バスがないのは本当に不便だ。</p>	<p>ニーズの多い区間にアクセス手段を確保するのは定石であり、昨今の高速バスは安価で人気が高い状況にあると認識しています。</p> <p>しかし、高齢者の買い物や高校生の通学など、より生活に密着した移動ニーズへの対応を優先させる必要があることから、鉄道駅と東名富士バス停へのアクセスは、今後の研究課題とさせていただきますと考えております。</p>	今後の参考
6	<p>富士山フロント工業団地は、バス停が遠く、本数も少ないため、働ける人が車で通勤する人に限られている。</p> <p>コミュニティバス路線などを増やすことで人材確保や雇用対策になる。</p> <p>富士市北部への交通網を見直し希望する。</p>	<p>富士山フロント工業団地へのバス路線の新設は、市街化調整区域であり、住んでいる人も少ないため、現在の状況を勘案すると厳しい状況にあります。</p> <p>このため、自助、共助、互助を見渡し、総合的な観点から検証する必要があり、今後の土地利用状況や社会情勢の変化などを踏まえ、需要の多寡やニーズを的確に見極めてまいります。</p>	今後の参考
7	<p>富士山フロント工業団地にある公園等でキッチンカーや露店等の誘致で食事の提供をしたら、従業員の満足度up、飲食店側の利益、近隣住民の公園利用者の憩いの場となると思う。</p>	<p>本計画（案）に関する意見ではないため、参考意見とします。</p>	その他